

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
学共201	[木2]文講112	60	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	後学期	木2	国際地域創造学部国際地域創造学科
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
g00644002	沖縄観光開発入門	2	
担当教員[ローマ字表記]			
水野 義弘 [MIZUNO Yoshihiro], 岡野 雄気			

## 授業の形態

講義、演習又は実験

## アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料を調べる

## 授業内容と方法

★仮登録期間に定員に達したため、追加申請は基本的に許可しません。

※国創4年次で卒業要件上どうしても履修が必要な場合には相談に応じます。詳しくは「履修条件」欄を読んでください。

★本授業科目は、前半を岡野、後半を非常勤講師の水野義弘先生（ANA総合研究所 執行役員）が担当します。

### 【授業の方法】

（前半：岡野担当回）

下記のとおり、授業の実施、資料配布、課題提出の受付を行います。変更がある場合には適宜案内します。

- ・授業の実施形式：
  - 対面での実施
  - 演習には各自のノートパソコンを使用する
- ・授業資料の配布：WebClass
- ・演習成果物の提出：WebClass

（後半：水野担当回）

下記のとおり、授業の実施、資料配布、課題提出の受付を行います。変更がある場合には適宜案内します。

- ・授業の実施形式：
  - 遠隔（リアルタイムオンライン。Teamsで実施）※アクセス方法等の詳細は確定次第アナウンスします
- ・授業資料の配布：WebClass
- ・演習成果物の提出：WebClass

### 【授業の内容】

（前半：岡野担当回）

前半の授業では、いわゆるビッグデータを主に利用して、沖縄観光の現状を見ていきます。

現在、データの活用は様々な分野で重要視されており、それは観光開発や観光振興においても同じです。

この授業を通して、「地域経済分析システム（RESAS）」「おきなわ観光地域カルテ」といった誰でも利用可能なツールを使ってデータ分析に触れるとともに、利用データ・分析方法の取捨選択や集計・分析結果の読み解きを的確に行うための基礎知識を身につけてもらいたいと思います。

授業は、講義を主体に、演習（個人ワーク、グループディスカッション）を一部行います。

講義では、まず、観光地の開発・発展に関わる基礎知識として、旅行者行動、観光地のマーケティングを扱います。

続いて、観光地マーケティングにおけるデータの活用について、ビッグデータを中心に講義します。

また、RESAS、おきなわ観光地域カルテやクチコミテキストデータを使って沖縄観光の現状を示しながら、データの特性、集計・分析結果の見方などを説明します。

演習の個人ワークの時間には、RESASとおきなわ観光地域カルテを使って、各自、集計分析の実施やその結果の読み解きを行ってもらいます。

グループディスカッションでは、個人ワークの成果物についてメンバーと意見交換して、考えを深めてもらいたいと思います。

（後半：水野担当回）

沖縄の観光は航空産業と密接に関係しています。後半の授業では、エアラインビジネスについて講義します。

さらに最後の2回は、航空と観光や地域振興との関係を学ぶとともに、関係のあり方などについて考えます。

## ■ ■ URGCC学習教育目標

社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

## ■ ■ 達成目標

(前半：岡野担当回)

1. 観光地開発に関わる主なキーワードを理解する [専門性]
2. 観光分野に利用されるデータの種類とそれらの特性について理解する [専門性]
3. 目的に応じて、利用するデータ・分析方法を選択できる [情報リテラシー][専門性]
4. データ分析を通して、沖縄観光の現況や課題を理解する [地域・国際性]
5. 分析結果に基づいて、自身の考えを述べることができる [コミュニケーション・スキル][問題解決力][専門性]
6. ディスカッションを通して、自身の考えを深めることができる [コミュニケーション・スキル][社会性][問題解決力]
7. ディスカッションを通して、他者の思索に貢献することができる [コミュニケーション・スキル][社会性][問題解決力]

(後半：水野担当回)

1. 移動手段を通して旅行・観光の変遷について理解する [専門性]
2. 航空産業の来歴、特徴、将来に向けた戦略について理解する [専門性]
3. LCCを含む航空事業のビジネスモデルを理解する [専門性]
4. 航空と観光、地域創生の関係性について、自ら調べ、自分の考え方を的確に表現できる [問題解決力][情報リテラシー][コミュニケーション・スキル]

## ■ ■ 評価基準と評価方法

(前半：岡野担当回)

- ・小テスト：40% ※達成目標1,2に対応
- ・演習の成果物：60% ※達成目標3,4,5,6,7に対応

(後半：水野担当回)

1. 第9回から13回までの講義後の小テスト：50% ※達成目標1,2,3に対応
2. 小レポート：50% ※達成目標4に対応

(最終評価)

教員それぞれの評価点を均等加重し、最終評価を行います。

※本授業科目の分類は「対面授業」なので、特別な理由が無い限り、対面で行う前半8回すべてへの出席が必須です。

## ■ ■ 履修条件

※ 本授業は、★★国際地域創造学部1・2年次を対象に開講★★ します。

※追加申請は基本的に許可しません。

※国創4年次で卒業要件上履修が必要だという場合、まずはご自身の指導教員に相談し、この授業の履修が本当に必要なかどうか確認してください。

そのうえで必要だと判断した場合はご相談ください。

その際には、履修の必要性をこちらが理解・判断できるよう、卒業要件、修得単位と不足単位の状況を整理した資料も提供してください。

## ■ ■ 授業計画

(前半：岡野担当回)

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 旅行者行動
- 第3回 観光地のマーケティング
- 第4回 観光地マーケティングとデータ
- 第5回 RESAS/おきなわ観光地域カルテからみる沖縄観光
- 第6回 RESAS/おきなわ観光地域カルテからみる沖縄観光（個人ワーク）

第7回 グループディスカッション

第8回 クチコミのテキストデータからみる沖縄観光、前半のまとめ

※一部変更になる場合があります。その場合はガイダンスでお知らせします。

(後半：水野担当回)

第9回 人の移動の歴史、そして空へ

第10回 航空産業の来歴、産業の特徴、現況

第11回 ポストコロナの航空産業の新戦略

第12回 航空業界の商品づくり

第13回 FSCとLCCの相違点

第14回 航空と観光

第15回 航空と地域振興

## 事前学習

(前半：岡野担当回)

事後学習をしっかりと行い、次の回に臨んでください。

そのほか、次週の内容に応じて事前課題を出す場合があります。

(後半：水野担当回)

1. 航空や観光にまつわるトピックスについて各自目を通し不明な点は講義で質問してください。

2. 航空が観光や地域創生に与える影響、関係性について書籍、インターネットなどで調べ、自らの考えを整理し、第14回及び15回の講義に臨んでください。指名して意見を発表してもらいます。

## 事後学習

(前半：岡野担当回)

知識の定着を目的に、小テストを適宜行います。

また、成果物の作成は主に事後学習時間に取り組むことを求めます。※授業時間内に行う個人ワークは、導入作業の位置づけです

(後半：水野担当回)

1. 講義で学んだところを資料を基に復習してください。

2. 第9回から13回までの講義の終了後、小テストを行います。

## 教科書にかかわる情報

教科書	書名	特になし				ISBN		備考	
	著者名								
	出版社		出版年		NCID				

## 教科書全体備考

特に指定しません。授業に必要な資料は、WebClassを通じ配付します。

## 参考書にかかわる情報

参考書	書名	特になし				ISBN		備考	
	著者名								
	出版社		出版年		NCID				

## 参考書全体備考

特に指定しません。授業で扱うトピックについて発展的な学習の参考になる資料を授業内で適宜紹介するので、その後の学習に役立ててください。

前半授業で利用するRESAS、おきなわ観光地域カルテは以下のURLからアクセス・利用できます。

- ・ 地域経済分析システムRESAS <https://resas.go.jp/>
- ・ おきなわ観光地域カルテ <https://areakarte.ocvb.or.jp/>

#### ■ ■ 使用言語

日本語

#### ■ ■ メッセージ

前半授業の演習には各自のノートパソコンを使用します。準備が難しい場合は、岡野担当初回にご相談ください。  
ノートパソコンには、MS Office（Excel、Word、PowerPoint）が用意してあれば十分な予定です。  
また、インターネットへのアクセスも必要です（RESAS/おきなわ観光地域カルテはウェブサイト上で操作するツールのため）。  
岡野担当初回ガイダンス時に改めて案内します。

後半の遠隔授業に備え、予め「Teams」の使い方を確認しておいてください。  
使い方は教務情報HPに掲載の「Teamsの使い方（学生向け）」（下記URL）などを参考にしてください。  
[https://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/dc/?page\\_id=10752](https://rais.skr.u-ryukyu.ac.jp/dc/?page_id=10752)

#### ■ ■ オフィスアワー

岡野：火曜日 14：30～15：30 文系総合研究棟 205研究室  
※臨時の会議や出張などにより不在の可能性もありますので、事前にメールで連絡いただけると確実です。

水野：学外のためオフィスアワーは設けない  
※質問、相談などある場合は、メールで連絡をしてください（アドレスは下記メールアドレス欄に記載）

#### ■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

#### ■ ■ URL